



～やればできる～

伸びゆく我ら

【1月の生活目標】日本一の返事とあいさつをしよう！

令和5年1月24日発行

第21号

文責：校長 石橋博道

鬼火焚き&餅つき(1月14日)

「伊良林おやじの会」主催の「鬼火たき」と「餅つき」が**3年ぶり**に開催されました。前日のうちから20kgのもち米を水につけ準備し、10時ごろから家庭科室で蒸し始めました。朝から小雨が続いていたので、ピロティでつきましたが、スタートするころには雨も上がり、コロナ禍前よりも多い参加人数で大変にぎわいました。100人を超える子どもたちと付き添いの保護者、それに地域の方も参加し、子どもたちも、大人もみんな久しぶりの餅つきを楽しみました。予想以上に参加者が多かったため、一人2個ずつの持ち帰りでしたが、みんな喜んでくれたようです。来年こそは以前のように、つきたてのお餅をその場で食べられるようになることを願います。

一方「鬼火たき」も、新しい運動場で初めてだったので、土が焼けないように耐火煉瓦を敷き、また、いざという時のために消防団の方々にも見守っていただくなど万全の体制で臨みました。おかげで、大きな門松二つを無事に燃やすことができました。

朝早くから準備してくださったおやじの会とPTA執行部の皆さん、ありがとうございました。



第22回青少年意見発表会(1月15日)

青少年意見発表



第22回青少年意見発表会が、市民会館文化ホールで開催されました。これは、中央公民館区青少年育成協議会連絡会が主催して毎年行っているもので、管内の小中学校の代表が、自分の夢や志、今の世の中に対する意見や考えを述べる場です。今年は、**3年ぶり**の開催で、11の小学校と7つの中学校の代表が参加しました。本校からは6年生の●●●●さんが代表として、「自然や動物に優しい心を」と題し、特別天然記念物のニホンカモシカが、人間の活動によって生息場所が減少したことに起因し、害獣として駆除されて

いることや本校がホタルの飼育を行っていることなど挙げながら、自然や動物に優しくできる大人になり、地球を大切にしたいと語ってくれました。その内容はもちろんですが、壇上で堂々と述べる姿も大変立派でした。

琴の調べ

今、学校では時折、「さくらさくら」の琴の音が聞こえてきます。正月らしい雰囲気醸し出しているのは、なんと4年生。実は4年生の子どもたちが、音楽の学習で琴をつま弾いているのです。いくつかのフレーズごとに練習を繰り返していますが、皆上手に弾けるようになってきています。琴はとても高価な和楽器なので、小学校で備えているところは多くはありません。しかし、今年は、5月に閉店した**慶華園様**から寄贈していただいたおかげで、とても良い学習ができています。本当に感謝です。



応援お願いします！

1月31日(火)は、これも**3年ぶり**の「長なわ大会」改め「なわとび大会」を開催します。3階ギャラリーを開放しますので、お時間がある方はぜひ応援にきてください。ただし、感染防止対策としてマスクの着用をお願いします。いつものように、上履き(スリッパ)はご持参ください。色別に行います。2校時赤組、3校時青組、4校時黄組の順番です。